



1月も残りわずかとなりました。今週は今季最強寒波の影響から、厳しい寒さが続き、各地で大雪や低温による被害が発生しました。本市でも北部の山間地域では積雪のため交通に支障があったとのこと。



ところで、今回の寒波について気象庁によれば、世界に異常気象をもたらす「ラニーニャ現象」が一因とのこと。日本付近の上空を吹く偏西風が平年より南に蛇行し、北極付近からの寒気が流入しやすい状況になったためとの見方です。厳しい寒さですが、その要因が地球温暖化がもたらした異常気象であることは不思議に感じます。

幸い本校学区内で積雪はありませんでしたが、厳しい寒さから特に登校時に路面が凍結している場所があるかと思えます。自分自身が転倒に注意することはもちろんですが、スリップした車に衝突されるなどの事故に遭う心配もあります。ご家庭でも登校時の安全確保について注意喚起をお願いします。

※生徒の皆さんは「偏西風」や「ラニーニャ現象」について調べてみましょう。

## ◇不審者侵入を想定した避難訓練

1月19日(木)5校時、不審者対応の避難訓練を実施しました。

今回は刃物を持った不審者が南昇降口から侵入したという想定で実施し、佐野警察署スクールサポートの方や佐野市役所危機管理課防犯係の方から、対応についてご指導いただきました。具体的には、状況を踏まえたより安全な避難方法、不審者に対峙するための“さすまた”などの使い方、不審者の侵入を防ぐ教室のバリケードの作り方などです。(代表学級以外はZoomによるオンラインで学習)

様々な方策についてご指導いただきましたが、何より大事なことは学校に不審者を侵入させないことだそうです。今回の訓練の成果を生かす機会がないことが何よりですが、学校も決して安全な場所ではありません。日頃から防犯に対する意識を高め、万が一に備えていく考えです。



## ◇第2回学校評議員会

1月23日(月)、第2回学校評議員会が開催されました。学校評議員会は地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進することをねらいとし、地域代表の皆様、学識経験者の皆様に学校評議員として委嘱し、年間2回の学校評議員会や各学校行事にお招きして、ご意見等をいただいているものです。

今回、学校評議員の皆様には、まず各学級の授業の様子を参観していただき、その後、以下のことについてご協議いただきました。

### 【協議事項】

○今年度の本校教育活動の成果と課題について

- ・学校教育活動について（校長からの説明）
- ・生徒・保護者アンケートの結果について

※先日のとちぎテレビの地域部活動推進事業の番組(録画したもの)を視聴していただきました。

○成果と課題についての協議



## ◇効率的な勉強法について

テレビの情報番組などでコメンテーターを務めている池谷裕二先生(東京大学薬学部教授)の講話から、勉強法についての内容を紹介します。

「学習における望ましい困難」という言葉があります。「楽に学んだことは、砂に書いた文字のようなもので、すぐに消えてしまう。」ということを行っています。学習において、楽をしたい、つまり効率性とか即効性を求めるのは間違いだと言っています。

では、どんな勉強法がいいのか。勉強法には大きく2つの方法があります。1つは、何度も何度も徹底的に見直して、頭に叩き込むという勉強方法です。

もう1つは、確認テストをひたすらやる勉強方法です。つまり思い出す練習です。

この2つの勉強法だと、覚えるスピードは一緒です。ポイントは、忘れるスピードに大きな差がつくということです。例えば、3か月くらい経ってから再テストを行うと、覚えている点数が少なくとも3倍、普通5倍くらい違います。点数が高いのは思い出す練習の方です。

脳は入力よりも出力を重視しているのです。どれだけ出力したか、これがすべて、これはちょっとした意識改革です。テストは測定的手段ではなく、「学習のツールである」ということです。

(2021.10.21 全日本中学校長会研究協議大会静岡大会記念講演から抜粋)